

平成28年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者	社会福祉法人ひじり福祉会
指定期間	平成25年（2013年）4月1日から平成35年（2023年）3月31日
施設概要	箕面市立多世代交流センター
市支出額	指定管理委託料・・・34,971,428円

2. 事業の実施状況

高齢者福祉機能「松寿荘」事業	高齢者の健康づくりや生きがいづくり
子育て支援機能「おひさま」事業	子育て中の若い世代のサポート
多世代交流に資する事業	高齢者から子どもまで世代を超えたふれあいの場を提供

3. 利用者の満足度

（1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	「項番2」のとおり
------------	-----------

（2）利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	「項番3」のとおり
------------	-----------

（3）利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	「項番2」「項番3」のとおり
-----------	----------------

4. 収支状況

（収入）45,913,837円 （支出）46,126,937円 （収支）△213,100円

5. 特別提案の状況

地域に開かれた活動の展開	<p>ボランティアによる日常的なミニコンサートや歌声広場、年1回開催する軽音グランプリやウィンターコンサートなど地域に密着した音楽イベントに、おひさまルームの利用者も親子で出演する稲ふれあいセンターまつりや盆踊りなど、利用者をはじめ地域の多くのかたがたに楽しんでいただける活動を進めてきました。各イベントとも地域に定着し、参加者も着実に増えています。</p> <p>また、平成28年4月に司法書士を招いた「今から始める終活一成年後見制度の取り組み」、9月に医師を招いた「緩和ケア講演会」、11月に大阪府警と箕面警察による「防犯教室」を実施し、市民セミナーとして多くの市民のかたに参加いただきました。</p> <p>その他、昨年に続き隣接する「ゆずの郷」の入所者と一緒に地域の共同清掃と、地域のかたと施設入所者交流会を年2回開催しました。</p> <p>今後も幅広く魅力あるイベントを開催するなど、地域に開かれた活動を実施してまいります。</p>
フリーマーケットの開催	<p>利用者協議会の協力を得て、平成25年度は「るいちゃん基金」への支援、平成26年度は「東北大震災復興」への支援、平成27年度は「鬼怒川の水害被災者」支援、平成28年度は「熊本地震の被災者」支援を目的として開催し、毎年大いに盛り上がりを見せ、地域に定着した催しとなってきました。</p> <p>今後も支援を目的として、地域の期待に応えたフリーマーケットを開催してまいります。</p>
パン工房の運営	<p>諸般の事情により、残念ながら平成29年3月末で休業しました。今後の運営再開については検討を続けているところです。</p> <p>なお、障害者事業所による週1回のパンの販売は継続しています。</p>

6. 指定管理者の自己評価

①入館磁気カードについて

平成27年4月に導入した入館磁気カードは定着し、利用者には概ね好評を得ているものと考えています。入館に関する手続きが効率良く処理でき、利用者も施設も負担が軽減しました。また利用者数や利用ニーズなどの動向把握がより容易に、正確に行えるようになっていきます。今後は入館磁気カードの更新をどのように進めていくかが課題です。

②施設利用について

年々利用者数も増加し、館内も賑わいを見せています。お風呂や駐車場の件でご意見をいただくことが多いですが、全体としては概ね満足していただいていると考えています。

ただし、お風呂については、利用者の増加に伴い、風呂の混雑化による課題が生じつつあります。また入浴者の多様化と高齢化による衛生管理（浴場内での排泄・排便）の問題と事故防止が引き続き課題としてあります。

③施設設備について

利用者に人気の高いヘルストロンやマッサージ器など、健康器具の老朽化による入替えが必要であると考えています。

また、駐輪場の満杯状態が慢性化しており、大きな事故が起きる前に早急な駐輪スペースの拡張が必要と考え、敷地内スペース活用などの対応策を、市とともに検討しています。玄関前の路面について、雨天時などに滑りやすくなり危険だと指摘があったため、平成28年8月に防滑工事を実施したところ、安全性が高まったと利用者からお声をいただくことができました。

平成29年3月に2階ロビーに書架が完成し、部屋のような空間が誕生した結果、今までよりも落ち着くという評価もいただきました。新しくできた空間の有効活用を検討していきたいと考えています。

④地域展開について

利用者協議会との緊密な連携と協力により、稲ふれあいセンターまつりや盆踊りなど伝統行事の実施を進めてきました。また、隣接するゆずの郷との交流会やその他新規企画にも取り組み、地域に開かれた事業を展開し、利用者に満足していただいていると思っています。

⑤おひさまルームについて

利用者の要望に応じてオープンスペースの回数を増やし、室内の環境も整備いたしました。また、月1回のベビーマッサージや歯科衛生士・管理栄養士・幼稚園副園長・幼児体操指導員を講師に招いてのプログラムは好評を得ております。今後とも、安心して楽しく有意義な時間を過ごしていただけるように努めてまいります。

これからもアンケートのご意見や日々のご利用者の声を運営に活かして、スタッフ一同初心を忘れず、笑顔を持って運営に携わっていきたくと考えています。